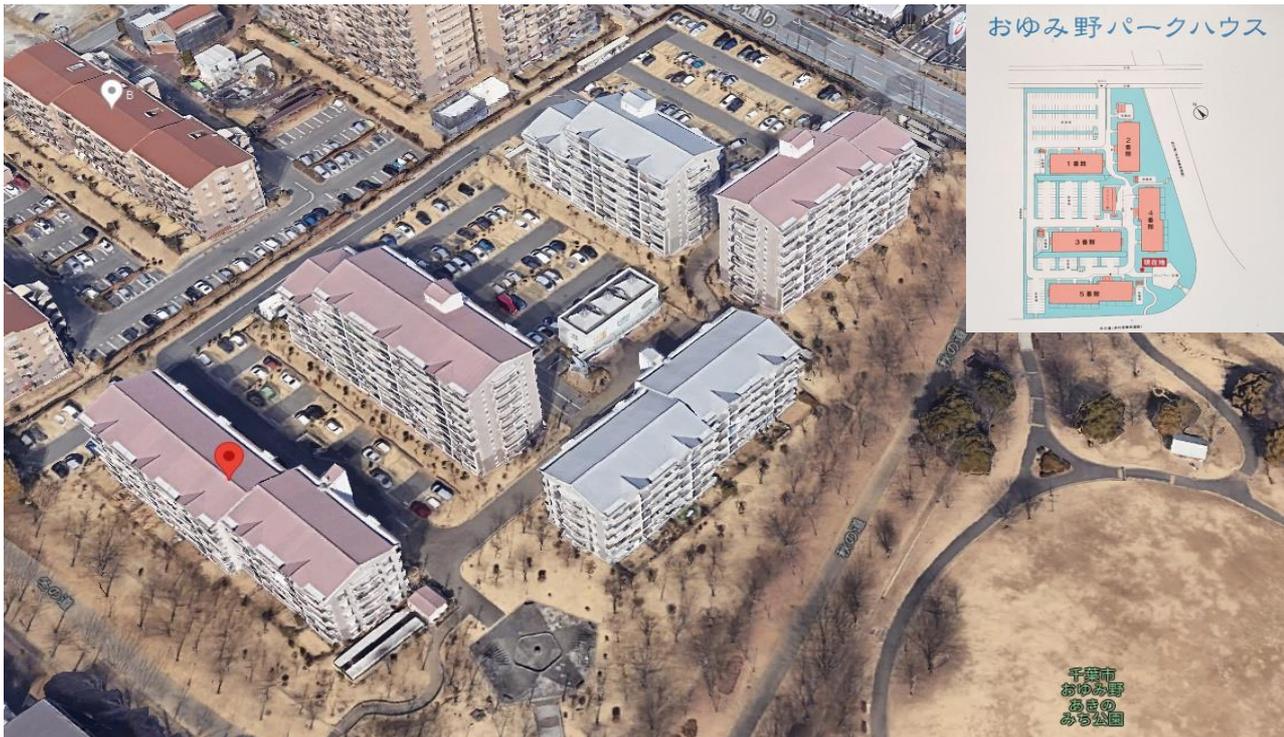


**会員名:おゆみ野パークハウス管理組合**

住所:千葉市緑区おゆみ野南5-24-2

8階建 5棟構成 築年月1996(平成8)年2月 築28年 総戸数 230戸



おゆみ野パークハウスは、周りに公園や遊歩道があるなど恵まれた環境に立地しています。

大規模修繕工事が終わり、今後の植栽管理について相談したいとのことで、樹木診断会の申込がありました。予め懸案事項を集会所で報告、現場を樹木医大矢先生と確認した後、意見交換が行われました。前回、2017年11月に樹木診断会をしており、当時の樹木診断会の報告書も資料として提供されました。

[2017年11月樹木診断会報告\(PDF:3.406KB\)](#)

参加者:理事の皆さん20名、管理会社担当、管理員さん、当協議会より「樹木医大矢先生、事務局」

**懸案事項と見解****①新築当初にあった建物まわりの芝生の復旧または玉竜、砂利敷などについて**

芝生は一日に最低でも6時間以上の日照時間を確保することが推奨されています。日照が不足する部分には、日陰に強い植物を植えるなど検討された方が宜しいでしょう。ご提案のように砂利敷などにするのも案ですね。

ただ、他の会員さんに比べ敷地全体に花などが少ないので、花壇を設置するのはいかがでしょう。花壇を設置する場合は興味をもって自主的に手入れしてくれるような有志を募っているところもあります。植栽管理全般を中長期的に検討する「植栽委員会」の設置もおすすめです。

**②低木復旧: 新築当初にあったツツジの再生、または別案の検討について**

ツツジは適度な湿度と水はけのよい場所で強い風が当たらない酸性土壌を好みます。現状は、コンクリートのブロックの横に線状に植えてありアルカリ土壌になる場所です。ツツジを植えるなら、ひと塊にして植えるようにした方がよいでしょう。他の会員のマンションでは、ツツジのあったところに「アガパンサス」を植えた例があります。

**③高木の巨大化した樹木の植替や高木の巨大化による配管に根が侵食する被害について**

原因となる樹木を撤去するか、根が侵食ないように配管を治すのがよいでしょう。地衣類のついた樹木が多くみられます。地衣類は樹木が弱っているサインとのこと。地衣類の増殖が気になる場合は、樹木の健康状態を総合的に評価する必要があります。

**④緑化駐車場(駐車場の芝地を張替)**

一般的に芝生の手入れは、刈り込みや水やりの他、土壌が健康で通気性が良いことも重要です。車が駐車している時間の長い場所では、手入れもできず日照の問題もありますので、現時点では様子を見るしかなさそうです。

また、「緑地協定」についても質問がありましたので、千葉市のHPにある「緑地協定一覧」ご参照ください。

おゆみ野パークハウス緑化協定

(1995)平成7年2月17日締結

[協定書\(PDF:72KB\)](#)

協定書にある樹木の種類と現状を見直すのもよい機会かと思えます。



樹木診断会の様子



集会所での説明の様子



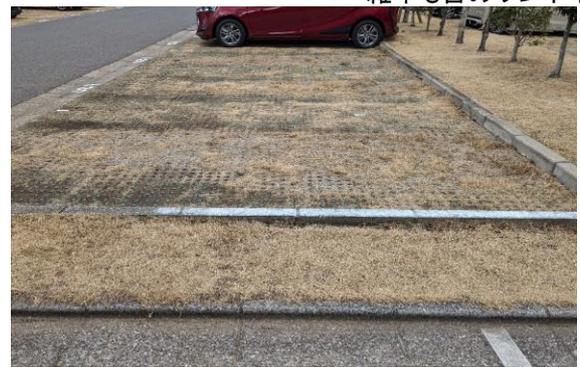
芝生が枯れた日陰部分

↑  
雑草も含めワンポイント



← カイガラムシ

駐車場の芝生 →



← 地衣類  
樹木が弱っている  
シグナル



↑  
窮屈な場所のケヤキ